

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 8 月 19 日	
所属部局・職	野生動物研究センター 研究員
氏名	吉田 弥生

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
東京国際フォーラム (〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1)	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
丸の内キッズジャンボリー2014 TIF ワンダーキャンパス「サル・ヒト・キミ研究室」出展	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
平成 26 年 8 月 11 日 ~ 平成 26 年 8 月 14 日 (4日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
東京国際フォーラム	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>毎年東京国際フォーラムで開催されている「丸の内キッズジャンボリー」に、「サル・ヒト・キミ研究室」と題したブースを、PWS、WRC、JMCの共同で出展いたしました。調査機材に触れたりテントやシュラフ等を体験できるコーナー、霊長類の能力に挑戦できるサルリンピック、剥製標本や頭骨レプリカなどを展示したコーナーなどを配置し、見るだけでなくスタッフと交流したり体験したりと、参加体験型の展示となりました。また1日3回ミニ講座を開催し、若手研究者やキュレーターによる講義をおこないました。</p> <p>アウトリーチ活動の楽しさ、難しさを学ぶよい機会となりました。安全管理や企画の内容など、様々な要素のバランスを考えながら、伝える事の大切さを気づけた事は大きな成果であり、今後の活動に役立てて行きたいと思えます。</p>	
 	
6. その他 (特記事項など)	